

1991.08.
No.13



Let's play Indiaca

Japan
Indiaca
Association

〔発行者〕
日本インディアカ協会
〒151 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-17-11
日本レクリエーション協会内
Telephone 03-3425-1241

[平成3(1991)年度]事業計画決まる!

平成3年度を迎え、事業計算・予算とも、また一段着実に階段を登り発展している。大規模大会が数多く開催されるなか、大会運営の中心的役割を担う審判員の資質の向上は、必須の課題である。この課題に対して、昨年度から開催している[指導審判員研修会]をさらに質・内容とも充実をはかっていかねばならない。

さらに、日本協会の法人化に向けて、組織の整備、会員の位置付け、基本金・運用資金の確保、事務局体制の確立等研究もすすみ、平成4年度中には申請をする予定である。加盟団体・指導者の一層のご支援をお願いしたい。

1991・講習会等のご案内

【指導審判員認定講習会】

●東北・関東地区(未定)

●東海地区

1992年2月29日(土)～3月1日(日)
名古屋宿泊青年の家

●関西地区

1991年7月27日(土)～28日(日)/大阪市立中央会館

●中国地区

1991年9月7日(土)～8日(日)/島根県立少年自然の家

【指導審判員・認定員研修会】

●関東地区 1991年11月30日(土)～12月1日(日)

●東海地区 1992年1月18日(土)～19日(日)

●関西地区 1991年12月14日(土)～15日(日)

●九州地区 1992年1月25日(土)～26日(日)

※各地区とも会場は未定です。

※昨年度に開かれた指導審判員・認定員のための「特別講座」は、本年度より「指導審判員・認定員研修会」に名称変更いたします。
なお、本紙4ページに昨年度「特別講座」の報告記事があります。

1991・インディアカ各種大会のご案内

●第14回全国インディアカ大会(第3回全国レクリエーション研究大会)

1991年8月23日(金)～24日(土)/新潟市鳥屋町総合体育館

●第4回全国スポレク祭・インディアカ大会

1991年11月9日(土)～11日(月)/熊本県八代市総合体育館

●'91 オールジャパン・レディース・インディアカ茨城大会

1991年10月5日(土)～6日(日)/茨城県土浦市立体育館

●第7回東北ブロックインディアカ大会

1991年10月13日(日)/福島県

●第13回関東ブロックインディアカ大会

日程未定/茨城県

●第4回東海ブロックインディアカ大会

1991年7月28日(日)/豊橋市総合体育館

●第11回関西ブロックインディアカ大会

1991年8月11日(日)/大阪府立体育館

●第8回九州ブロックインディアカ大会

1991年9月15日(日)/長崎市民体育館

指導審判員の養成については、具体的な期日、会場は決定されていないが、原則的にブロックごとに開催を計画している。年間二〇〇名を予定しており、期日等決まり次第、該当する方に連絡する予定である。

指導審判員の養成については、具体的な期日、会場は決定されていないが、原則的にブロックごとに開催を計画している。年間二〇〇名を予定しており、期日等決まり次第、該当する方に連絡する予定である。

去る3月25日の理事会において、平成3年度の事業計画ならびに予算が承認された。インディアカ指導者の養成をはじめ、各種・各級大会の充実に力点があがれた計画である。特に10月5日～6日に開催される「オールジャパン・レディース・インディアカ大会」は、スポーツ振興基金の助成を受け、今までにない充実した大会になるだろう。また、協会規約・指導者規程の改正により、「指導審判員」資格の更新には、ブロック別に開かれる指導審判員研修会受講が義務づけられ、指導者の資質の向上をはかるものである。

Indiaca 指導審判員一覧

1990.9.1~91.6.24の取得

(順不同・敬称略)

Indiaca 普及審判員一覧

1990.11.1~91.6.24の取得

(順不同・敬称略)

●福岡県

●宮城県

●群馬県

●千葉県

●鹿児島県

●山形県

●茨城県

●北海道

●福島県

●東京都

●沖縄県

●埼玉県

●千葉県



● 広島県
愛媛県

● 福岡県

● 熊本県

● 鹿児島県

●訂正とお詫び 第12号の「普及審判員一覧」に「東京都」の門脇俊介氏、藤山茂とあるのは「鳥取県」の、同じ東京都の「黒田秀」とあるのは「曾我秀」の誤りでした。謹んでお詫び申しあげます。

各種大会報告

■第6回東北ブロックインディア大会

●1990.11.18／山形県上山市立南小学校

●参加チーム数：39チーム

[女子の部]

優勝：レモンズ象潟（秋田）

準優勝：松山睦会（山形）

3位：気仙沼レディーススポーツクラブNo.1（宮城）

3位：はまなすクラブ（秋田）

[混成の部]

優勝：松山フレンド愛（山形）

準優勝：C・I・K（山形）

3位：上山インディアカ愛好会（山形）

3位：松山フレンド花（山形）

■'91オールジャパン・インディア大会 in KITAKYUSHU

●1991.4.13～14／北九州市内の各体育館

●参加チーム：80チーム

[女子の部]

総合優勝：オーロラクラブ（下関）

Bブロック優勝：若松かけ（北九州）

Cブロック優勝：あじさい梅井（芦屋）

Dブロック優勝：若松やまと（北九州）

Eブロック優勝：本城フラワーズゆり（北九州）

Fブロック優勝：JG 4（北九州）

[男子の部]

総合優勝：青空クラブ（下関）

Bブロック優勝：八代フィットネス（熊本）

Cブロック優勝：赤羽クラブ（下関）

[混合の部]

総合優勝：ライフ（静岡）

Bブロック優勝：江川南A（長崎）

Cブロック優勝：サタデーナイトD（北九州）

平成2年度「特別講座」開催される

スポレク祭を契機にして、国民体育大会のデモンストレーション種目（山形県・愛知県）に選ばれるなど、全国規模の大会・イベントが活性化してきた。それらの大会のなかで中心的役割をはたす、審判員の資質の向上とルール解釈の全国統一が、早急に図られなければならない。

この課題をうけて、指導審判員・認定員のための「特別講座」が平成2年度に全国の4会場で開催され、4ブロックに配置している専門委員6名の協力で、問題点・申し合わせ事項、研究課題等が活発に討議された。

【ルールについて】

●ホールディングの解釈……判定の基準を明確に

①インディアカを長く引っ張るようなプレーをした場合（手の中でインディアカを止めたり、すぐったり、持ち上げたり、押しつけたり、運んだりするプレーをいう）。

②プレーヤーが手の指を曲げた（握った）状態で、インディアカを引き下ろすようなプレーをした場合。

③インディアカをネット上端より低い位置から、いったん持ち上げて相手側コートに投げ下ろすようなプレー（巻き込みプレー）をした場合。

④手がインディアカに触れた状態で、インディアカをコースやスピードを2段以上、動作で変えるようなプレーをした場合。

●サービスについて……削除と変更

①競技規則第12条第2項の〈トスしてから〉を省く。

②(注)腕が床面に対して垂直に振られていることを意味する。

③教本71ページ「ファンダーサーブの判定」は〈腕が床面に対して垂直に振られないければならない〉。

●第12条第2項(注)として……「ローテーションオーダーに示された位置」とは、サービスのとき両チームのプレーヤーはそれぞれのコートに、サーバーを除いて2人ずつ2列に位置することをいい、また、2列の線は曲がっていてもよい。ネット近くに位置する2人を前列、他の2人を後列という。ネットに正体して前列右側は前列左側より右に、後列右側も後列左側より右に位置しなければならない。位置の判定は「地に付いている足の位置」によって行う。

●第19条第2項の21.についての(注)……「位置の誤り(アウトオブポジション)」とは、サービス開始の瞬間のプレーヤーの両足の位置で決定される。前列の各プレーヤーの両足または片足は、後列の各プレーヤーの両足または片足よりもセンターラインに近く位置しなければならない。同じライン（前列あるいは後列）の右側および左側に位置するプレーヤーは、ネットに正体して右側プレーヤーの左足と、左側プレーヤーの右側の足が重ならないように位置しなければならない。

このほか【ゲーム進行に関すること】【ハンドシグナルの追加】【審判の仕方】等、新しい提案がなされたが、紙面の都合で省略。これらについては、さらに専門委員会で討議し、理事会の議を経て決定してから発表する予定である。

● 第2回函館インディアカ大会

平成2年11月4日、函館市凌雲中学校体育館で、17のチームが参加して第2回函館インディアカ大会が行われました。一般女子の部では「鍛冶母親Aチーム」が、一般男子の部では「函館東消防署チーム」が、小学校の部では函館深堀小学校の「クラントチーム」がそれぞれ優勝しました。ことに男子の部で優勝した消防署チームは仕事の合間に、駐車場にピニールの紐を張つて練習を重ねたといいます。^{100セント} 以上もある身長から強烈なスパイクを発し、圧倒的な強さでした。

さて、本大会で注目を集めたのは、受験校で有名な函館ラ・サール高校の柔道部チームです。今までインディア力を見たことがなく、バドミントンの羽根で猛練習を積んでこの大会にのぞんだのですが、さすがに練習中は手が痛がったと嘆いていました。

実はこの柔道部、本大会の2、3日前に深堀小学校のことを知り、この小学生チームと練習試合をしたらしいのですが、結果は小学生に完敗。高校生を破った子どもたちは大喜びで、「またお兄さんたち、来ないかな」と首を長くして待っているとのこと。本大会で優勝してからというもの、深堀小学校ではインディアカブームが起こり、インディアカクラブ（課外活動）の児童が急増中だと聞いています。



インディアカ講習会。左側のネーム前が須藤会長。

56年春のことでした。社会体育指導のなかで出会ったのですが、「これは中年からの健康スポーツに適している。でも、どうやって普及させればいいのか」と頭を抱えました。ちょうど、そのときうれしいニュース——東松山市を中心に全国レクリエーション大会が開催され、第4回全国インディアカ大会が飯能市を会場に行われる——の報が入ったのです。これを機に県協会が設立され、ジュニア（小学生）の部がほしいとの要請もあって、会員主婦の娘さんを中心にしてジュニアの強化訓練を行いました。それはみごとに実を結び、一般女子Aブロック、ジュニア女子（当時小学5・6年生）の両チームが優勝したのです。

これがクラブ養成に拍車をかけました。翌57年には、市内のほとんどのが民館でインディアカの羽根が飛び交い、

寒の時には、広い体育館にわざか2、3人。やっと燃えだしたインディアカの火を消してはならないと、みんなで頑張りました。東松山市インディアカ連盟が結成されたのは、昭和61年のことです。

さて、十周年記念大会の企画については、第4回全国インディアカ大会で、当時ジュニアメンバーだったお嬢さんたちが今年成人式を迎えて、晴着姿で挨拶に来てくれたこともきっかけになりました。「私たちを覚えてますか？」との言葉に胸が熱くなつたのです。

十年一日のことし、これからも地元はもとより全国数十万人の愛好者とともに、私生涯の健康スポーツとしてインディアカを楽しく続けていこうと思ひをあらたにしたのでした。

……東松山市インディアカ連盟会長 須藤和一郎

● 第3回山梨県スポレク祭

インディアカ大会

色とりどりのユニホームに汗をにじませながら、まつ赤な羽根を追い続ける真剣な顔。相手を威嚇するかのぞき眼差し。それら選手の動きにつられて試合にのめり込む観客。失敗すれば激励の歓声、成功すれば称賛の拍手。

これは平成3年5月19日に行われた、第3回山梨県スポレク祭インディアカ大会で見られた光景です。山梨県では、当県で第一回全国スポーツ祭が開催されたのを機に、その後毎年山梨県スポーツ祭を実施しているのです。

翌年には各地で「インディアカ教室」が開かれました。急速にインディアカが普及していました。

しかし、一見スマートに見える普及活動にも苦難がありました。酷暑・酷



第3回山梨県スポレク祭の開会式。

● 第1回北九州地区インディアカ

女子リーグ戦

平成元年11月より翌年1月にわたって、福岡県インディアカ協会所属の北

九州地区協会登録の女子チームのメンバーたる由来の会のお母さん方で、昭和たのは某父母会のお母さん方で、昭和



Bブロック優勝の「若松ふじむ」チーム。

れ、2月15日に表彰式と反省会が開かれました。

全参加チーム19を2グループに分け、審判員は割り当てられた試合の審判を行い、試合結果はその都度、地区協会へ報告するという方式で行いました。参加したクラブは、毎週行っている例会の練習日に対戦相手チームと連絡・調整をはかつて、試合を消化していくのです。

それぞれのホーム練習時間が午前、午後、夜間といったように異なり、時間帯のずれたチームと対戦するときのチームメンバーを揃えることの難しさ、審判員や対戦相手同士での日程の調整など、今後の改良点を残しました。し

ては、協会創設時から一貫して、レクリエーションや生涯スポーツの意義を理解させ、その一形態としてインディアカを位置づけるという方法をとっています。これが功を奏したのか、大会でも申し込みが定数を上回り、トを増やす方向で検討中です。

当協会でのインディアカ指導においては、協会創設時から一貫して、レクリエーションや生涯スポーツの意義を理解させ、その一形態としてインディアカを位置づけるという方法をとっています。これが功を奏したのか、大会でも申し込みが定数を上回り、トを増やす方向で検討中です。

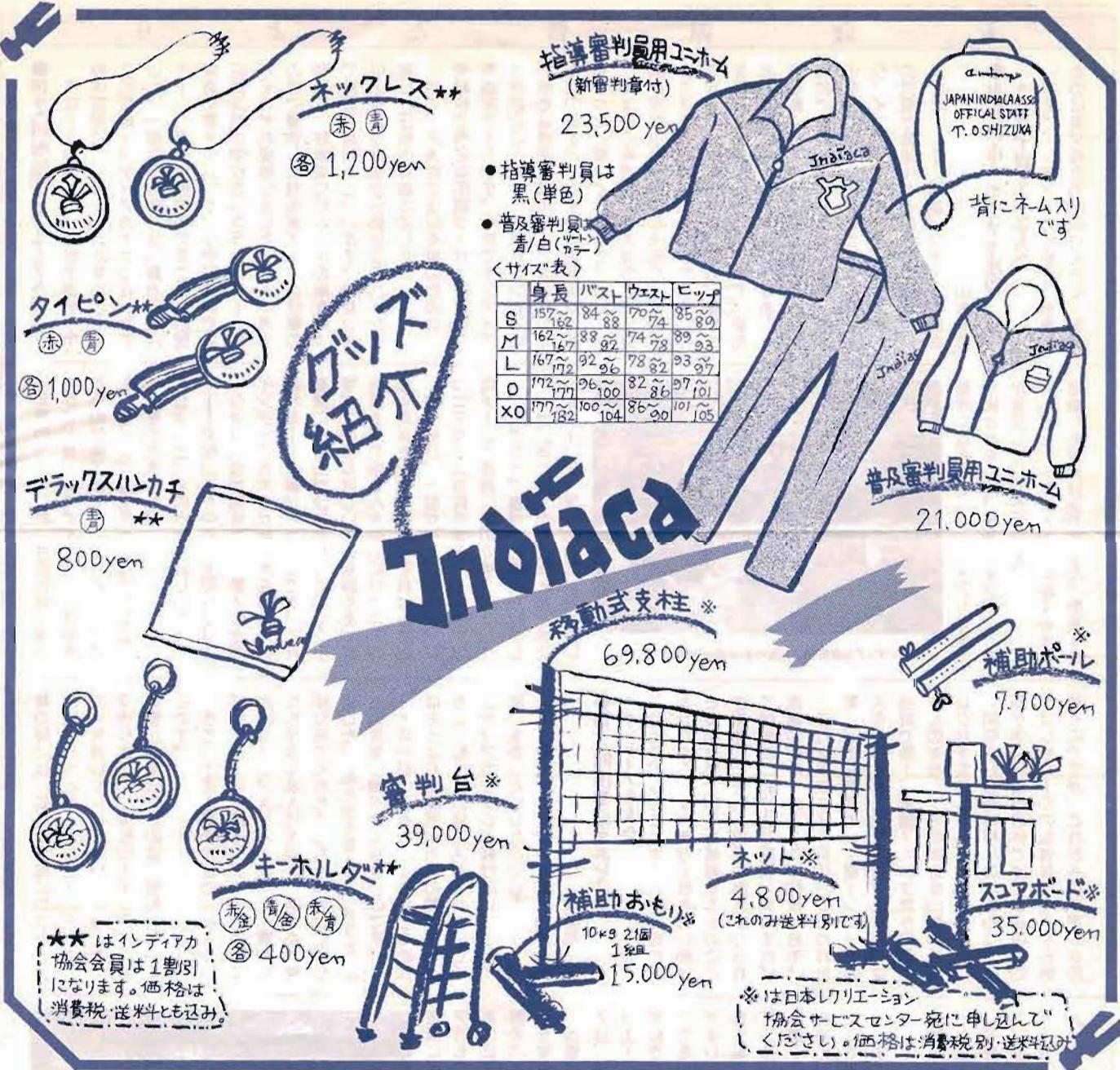
第3回大会を無事に終え、会員一同安堵の胸をなでおろしつつ、明日に向かって歩みを進めているところです。

……山梨県インディアカ協会会長 神田 保

かし、本当のインディアカのおもしろさを知ったという声も万々で聞かれました。これは、これまでの試合方法は時間制をとる場合が多かったのですが、今回は15点フルセットで進行したことによる収穫だったと思います。

クラブ間の競争も深めることができます。次年度も参加地域を広げて開催することです。

……福岡県インディアカ協会事務局長 重戸 紀理子



京都府インディアカ協会 翼チーム

全国のインディアカ愛好のみなさま、お元気ですか。私たちは、PTA同好会として発足してわずか2年足らずのゆで卵のようなチームです。

私たちは幸運にも全国規模の大会に3回も出場することができましたが、経験ほどこわいものはないようです。ヤル気マンマンの熟年男女が家族そろって、将来は親子大会や家族対抗試合をやろうと意気込んでおります。すでに地域では「少年少女インディアカ大会」を年間行事の1つとして指導・推進していますが、おじいちゃん、おばあちゃんも孫の応援に声をからせるなど、家族総ぐるみで取り組んでいます。

今年度も協会杯争奪戦などの楽しい企画を盛りだくさん、府協会のユニークな役員理事の方々とともに活躍を続けたいと思っております。

わ れ ら イ ン デ イ ア カ 仲 間

